

日本語教育人材の整理と養成・研修の検討の方向性（素案）

	段階	主な役割・能力	対象	養成・研修の在り方
日本語指導者	中堅段階	日本語教育に関する専門的な教育を受け、第二言語として日本語を教える体系的な知識・技能及び十分な経験を有し、日本語指導者としての高度な専門性を持つ者。 国内外の日本語教育の現場で学習者に応じた日本語教育プログラムを策定し、体系的・計画的に日本語指導を行う者。	各活動分野において中核的な立場を担う日本語指導者 初級から上級までの技能別指導を含む十分な経験(2400単位時間以上)を有する者	活動分野を限定せず、分野横断的に必要とされる教育内容を扱うとともに、所属機関・組織を超えて、日本語教育全体に対する視野を養うための実践課題持ち寄り型の研修を受講
	初任段階 (活動分野別)	日本語教育に関する専門的な教育を受け、第二言語として日本語を教える体系的な知識・技能を有し、活動分野や対象学習者に応じて求められる日本語指導者としての専門性を持つ者。 国内外の日本語教育現場で定められた専門日本語教育プログラムに基づき、体系的・計画的に日本語指導を行う者。	日本語指導者(養成段階)を終えた者 当該活動分野で新たに日本語教育に携わる者	当該活動分野に必要な教育内容を扱うとともに、当該教育現場におけるOJT研修、又は当該活動分野で日本語指導に携わる者に対する大学等の日本語教員養成課程における研修を受講
	養成段階	日本語教育に関する専門的な教育を受け、第二言語として日本語を教える体系的な知識・技能を有し、日本語指導者としての専門性を持つ者。 国内外の日本語教育現場で定められた日本語教育プログラムに基づき、体系的・計画的に日本語指導を行う者。	日本語指導者を目指す者	大学または日本語教師養成課程・講座において、コアカリキュラム及び教育実習を含む26単位または420単位時間以上の研修を受講 日本語教育能力検定試験合格者等の日本語指導者を対象に、教育実習のみの受講も可とする

コーディネーター 日本語教育	主任教員 (留学生)	日本語教育に関する専門的な教育を受け、第二言語として日本語を教える体系的な知識・技能、学習者に対する十分な知識及び経験を有し、日本語指導者及び日本語教育コーディネーターとしての高度な専門性を持つ者。 国内外の日本語教育の現場で次に掲げる事項を行う者	留学生対象の日本語教育機関の主任教員	日本語教育機関において専任経験3年以上の者を対象とし、教務面の責任を担う立場に必要なとされる管理者研修を受講
	地域日本語教育コーディネーター	日本語教育プログラムの策定・実施運営及び改善 日本語指導者・日本語学習支援者に対する指導・助言・管理 日本語指導者・日本語学習支援者の養成・研修の企画立案 多様な機関と連携・協働し日本語学習者の学びや日本語教育を通じた社会参加を促進するための活動のデザイン	地域の日本語教育の専門人材として国際交流協会やNPO等で地域日本語教室をマネジメントする者	文化庁の地域日本語教育コーディネーター研修の他、地方公共団体及び大学等が開催する研修を受講
日本語学習支援者	日本語指導者や日本語教育コーディネーターとともに、日本語学習者に日本語を指導したり、日本語学習を促進する役割を担う者。(交流を活動目的とする者は含まない。)			地方公共団体やNPO等の民間団体が開催する研修を受講